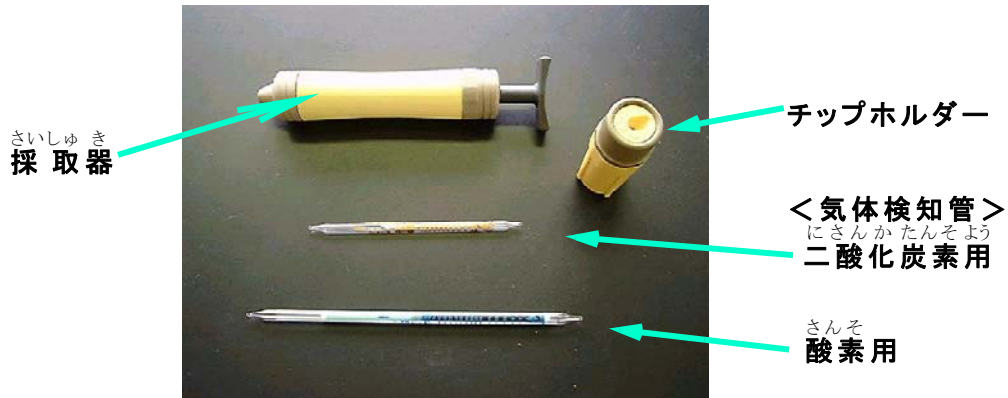


氣體検知管の使い方と注意点

空気の中に酸素や二酸化炭素がどれくらいの割合で含まれているのか調べるものです。



- ① 氣體検知管の両端を、チップホルダーを使って折り取ります。
- カバーゴムを検知管のGマーク側に取り付けます。



- ② 採取器に、氣體検知管を差し込みます。



- ③ 赤い印を合わせ、ハンドルを一気に引いて固定し決められた時間待ちます。(1分程度)



- ④ 氣體検知管を取り外し、目盛りを読みとります。



酸素の場合
21.3%



二酸化炭素の場合
0.03%



- 変色している部分の境目を読みます。

- 二酸化炭素の検知管は黄色と赤があるの
で実験に応じてつかいます。
- 赤色 = 濃い二酸化炭素
(0.5% ~ 8.0%)
- 黄色 = 薄い二酸化炭素
(0.03% ~ 1.0%)